

探偵ニュース!



Vol.17 発行日：2019年3月1日

presented by 原一探偵事務所

発行元：〒350-0826 埼玉県川越市上寺山2-1 原一探偵事務所 代表取締役 大原一泰

CONTENTS

- 【トップニュース】
- 3月・4月は自殺予防強化月間 1
- 【対談】 原一・大平英二×白山勉×川村智典 2
- 【これが原一松山の実力だ!】 3
- 【原一探偵のココがスゴイ】 3
- 【探偵あるある物語】 4
- 【ヒラキの「お任せください」】 4
- 【お知らせ】 4

3月及び4月は自殺予防強化月間

業界のリーディングカンパニー、原一探偵事務所では浮気調査だけでなく、子どもの行動調査・見守り・安全教育、家出人捜索、家族の行動調査、高齢者の見守り＆調査など、生活全域にわたるサービスを行っています。調査実績44年、解決実績は11万件以上という「信頼と実力」の証を持つ原一探偵事務所だからこそ実現できるサービスです。今回は、原一の自殺予防月間についてご紹介します。

自殺目的の家出は、すぐに調査を開始するのがベスト

「3月は例年、自殺者数が最も多く、厚生労働省では3月を『自殺対策月間』と定め啓発活動を行っています。原一探偵事務所では、家出人の自殺の予防に力を入れており、3月と4月を人探しにおける自殺予防強化月間として人探し調査に尽力していきます」

警察庁の発表によると、平成29年の1年間で、行方不明者届受理後に死亡が確認されたのは、2〜7日後が群を抜いて多いことがわかった。すべてが自殺ではないが、調査開始が早いほど、命が守られることは一目瞭然だ。

原一では、家出人調査の場合、自殺の可能性を考慮し、スピードを意識している。「家出人調査では遺書の確認を最優先しています。ひと昔前と違い、現代ではITデバイスを使い、様々な形で遺書を残しています。原一では、その調査方法にも高い技術を有しています」

3月及び4月は原一の自殺予防強化月間 人探し技術を活かして自殺を未然に防ぐ

大切な命を守るため
人探しのご相談はお早めに



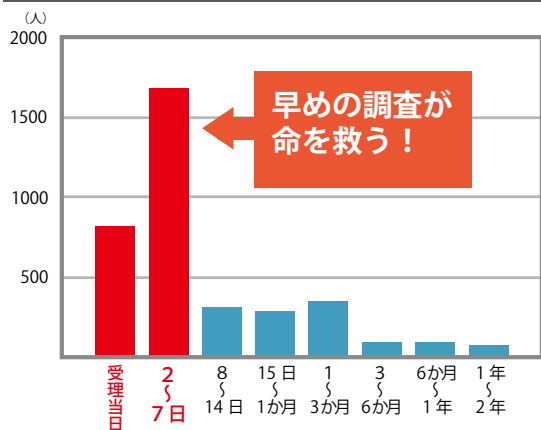
原一探偵事務所
調査部 特別捜索課
おおひら 大平 英二

調査員を長年経験後、その経験を活かし、家出と失踪案件の管理・指揮をとる。未成年や成人の家出だけでなく、高齢者の徘徊等の案件にも力を注ぐ。地域への貢献と共に、「人探しは探偵へ」という認知を高めたいと尽力。

原一では、2017年8月より人探し専属チームを結成し、家出人調査に力を入れている。

「経験や技術だけではなく、家出人の命を救うことに使命感を持つ調査員ばかりです。原一に安心してお任せください」

行方不明者届受理から死亡確認までの期間



警察庁「平成29年中における行方不明者の状況」より作成



鼎談

調査部

特別捜索課

大平英二

白山勉

川村智典

10代〜20代の自殺目的の家出人が増加傾向に デジタル空間に存在する遺書を探すのが調査の始まり

遺書を残す家出が増加傾向に
早急の対応が必要

——近年、人探し調査の傾向は変わりましたか？

白山勉「対象者の年代に関しては、家出の場合、ここ最近変化はありません。圧倒的に多いのが10〜20代の家出で、その親御さんが相談にいらっしやいます。対象者の男女比も変わらず、男性が7割を占めています」

川村智典「ただ、自殺の可能性がある家出が増えていきますよね？ 遺書を残して家出をするケースが圧倒的に増えていると感じています。私が所属する情報を集めるチームでは、まず早急の遺書の有無を確認します」



調査部 特別捜索課 白山勉
調査歴17年。人探し専属チームの精鋭調査員。調査で履きつづいた靴は500足以上。冴えた本能と行動力を武器に、自殺寸前に発見し命を救ったこともある。



調査部 特別捜索課 川村智典
尾行調査を経験後、特別捜索課へ配属。聞き込み調査を主にし、漫画喫茶などのネットワークに力を入れる。SNSの解析など、多方面で調査に尽力。

白山「それが大切ですね」

川村「『見えない場所にある遺書』を探すことに力を入れています。昔は遺書というと、紙に書いて机の上など目につく場所に置いていきましたが、現在はタブレットやパソコンに残していることが増えてきました」

大平英二「ITに詳しい調査員が人探し専属チームには所属していますので、原一の調査は初動から他社とは違うと思います」

川村「ご家族の了解を得て家出した方のデバイス解析を行い、いち早く遺書の確認を行っています。遺書がなくても、購入履歴から自殺を予測できるもの、例えばロープ、ビニールシート、薬物などの履歴があれば自殺の意志が

あるとみなして調査を進めます」

白山「今までの調査で、硫化水素を購入した履歴を発見し、同時に山についてのトーク履歴から組立てて発見に結び付けたこともあります」

大平「現場を中心とした調査員なので、どんな場所でも果敢に入って調査していますよね？」

白山「真つ暗な富士の樹海だつて入っていきますよ！」

情報収集、経験、現場、
すべての精度が高い原一

——人探し調査で大切なことは何でしょうか？

大平「情報収集、経験、現場……、すべてにおいて技術の向上を行っています」



調査部 特別捜索課 大平英二
人探し専属チームの現場管理、指揮を行う。「人探しは探偵へ」という認識を強め、一人でも多くの大切な命を守りたいと力を注ぐ。

す。ハイテク機器なども積極的に導入し、小型のドローン、サーモグラフィ、暗視スコープなどを調査で使いこなしています。しかし、なんといっても人海戦術が原一の強みですよね」

白山「そうですね。科学技術ももちろんですが、最後は人海戦術です。調査員の経験からくるカン、家族へのヒアリング、聞き込み調査、そして、自殺の名所から人が入っていないような場所まで、足で歩いて調査するのが原一のパワーです」

川村「我々のこのパワーを、子どもの家出に悩む親御さんたちに、どうしたら伝えられるのが今の課題ですね」

白山「そうですね！ 命を救うには家出をしてから3日以内に探し始めることが非常に重要です」

大平「人探しは探偵へ、という意識がまだまだ薄いのが残念です。我々が成果を上げて、世の中に広めるしかないのかもしれない。探偵のイメージを一変し、早くご相談いただけるバックグラウンドを作り上げていきたいと考えています」

全国に 18 拠点！ 原一探偵事務所だから可能な全国調査

これが原一松山の実力だ！



安心できる探偵社として四国全体をサポート

四国全体には探偵社が数多く存在し、松山市だけでも個人経営を含めると 50 社程度あるそうです。そんな中でも、相談員の対応や調査がしっかりしていると評判が高いのが原一の松山拠点です。

四国では瀬戸大橋やしまなみ海道など、本州へ向かうルートで浮気調査を行うなど、海を渡る調査になることもあります。原一はどんなルートでも確実に結果につなげます。また、他県から来た対象者の調査では、そのバトンをすみやかに受け取り四国での調査につなげます。家出人の中には、お遍路旅行として有名な四国の「八十八箇所巡り」を目指してくることがあります。八十八箇所すべてをめぐるとバスツアーでも 1 ヶ月以上かかるという長い旅。原一の調査員は、その特徴をすべて知り尽くし、対象がどこを目指しているのか綿密に予測し成功につなげます。四国の安心して依頼できる探偵社として信頼を強めています。



原一探偵事務所 松山拠点
愛媛県松山市大手町 2-9-34
大手町 MUKAI.BLDG 4F

相談員も相談室も明るい



ビルの 4 階にある相談室は、白を基調としたインテリアで明るくシンプルにまとめられています。明るい室内と優しい相談員が、相談者さまの沈んだ気持ちをほぐします。調査が終了してからも、その後の報告をしてくれる相談者さまが多く、幸せな報告を聞く度にスタッフ一同喜んでいきます。四国の探偵社といえば原一、四国の安心を守っていきたくないと頑張っています。

この調査員に聞きました



たなか のりこ

田中 典子

原一探偵事務所、松山拠点相談員。相談員歴 5 年。「田中さんに相談してよかった」と喜ばれることが多く、やりがいを感じている

探偵業界は学生時代からの夢

「探偵業界に入ることが学生時代からの夢でしたが、当時は女性が調査員として働ける時代ではなく、あきらめていました。しかし、数年後、夢がよみがえり再び業界の門をたたきました。憧れの探偵業界で働くことができ、1 人でも多くの相談者さまを幸せにすることが今の目標です」



原一探偵の ココがスゴイ！



ハイテク機器を使いこなし、危険な場所でも迅速な調査を

手のひらサイズの小型ドローン。山奥、崖の下、河原、茂みなど人が入れない危険な場所も迅速に調査

家出人調査では、迅速な行動が必要になります。人の命を救うことにつながる家出人調査では、時として山中や河原など、人が入ると危険な場所を調べなければならないことがあります。しかし、調査は時間との勝負。調査機器を取りに戻っては、家出人が命の危険にさらされることも。自殺をするために山中に入ったものの、死にきれずさまよっているところを原一の調査員が助け出したことは数えきれません。調査のために人里離れた山中に入ることさえ、原一の調査員にとっては「当たり前」なのです。

そこで、持ち歩けるハイテク機器を原一では導入しています。その 1 つが小型ドローン。スマホで操作を行う手のひらサイズですが、しっかりと映像を確認できます。これで崖の下や茂みの中を探索し、家出人の姿を見つけだします。機器の導入には、費用も操作テクニックを身につける時間もかかります。しかし、原一では費用も手間も惜しまず、これからも家出人の命を最優先していきます。



presents by 原一探偵事務所

探偵あるある物語

調査員にとっては日常だけど、一般人にはビックリな“探偵あるある”をご紹介します
趣味なのか？ 仕事なのか？ それの問題だ

もともと車が好き・バイクが好き・カメラが好き探偵が集まっているせいか、趣味なのか？ 仕事なのか？ 趣味と実益を兼ねる原一の調査員。
「カメラが好きなので知識は豊富にあるのですが、この知識は趣味のためなのか？ 仕事のためなのか？ ふと疑問に思うことがあります。原一のいいところですが、会社の予算で最新機器を使用させてもらっているので、趣味の欲求を満たしつつ仕事にまい進しているという感じです」

車もバイクも1人1台支給され、出退勤でも使う慣れた車でいつでも現場に向かうことができる。

「どうしても調査を優先してしまうのですが、最新機器を使えるので苦に思ったことはありません」仕事一筋に生きる原一の調査員らしい「あるある」でした。



お知らせ

◆3月1日、原一探偵事務所のニュースレター第17号を発行しリリースを発信しました。

◆人探し、家出調査、浮気調査の依頼を個人および、メディア協力として承っております。

◆浮気コメンテーター、浮気メンター・ヒラキの出演依頼、探偵体験など、メディアに合わせてご協力をさせていただいております。お気軽にお問い合わせください。



浮気のことならお任せを！ 浮気メンター、ヒラキがあのウワサや浮気騒動に、解決策をご提案

浮気メンター ヒラキのお任せください！

ヒラキ

原一探偵事務所の美人広報担当。浮気の事例を数多く研究し、マスコミ発信を行う浮気問題のスペシャリスト

夫婦げんかの末に別居？ 家出？ その裏には浮気が潜んでいることも

家出人調査がテーマの今回ですが、じつは家出の裏に「浮気・不倫」が潜んでいるケースも珍しくはありません。例えば、「些細なことで口論になり、パートナーが家出。そのまま別居に……」というパターンから「もうやっていけない、会いたくもない」と一方的に離婚を迫られた裏側には「浮気・不倫相手の家にいる」「別居して堂々と浮気・不倫相手と会い始めた」なんて事実が潜んでいることも。

このような場合は、証拠をしっかりと押さえることで再構築・離婚どちらにも有利に持って行くことが可能です。

原一探偵事務所では「ココロによりそう」探偵社として、誰にも言えないような悩みごとにも相談員が親身になって相談に乗ります。相談は、24時間365日いつでも無料です！

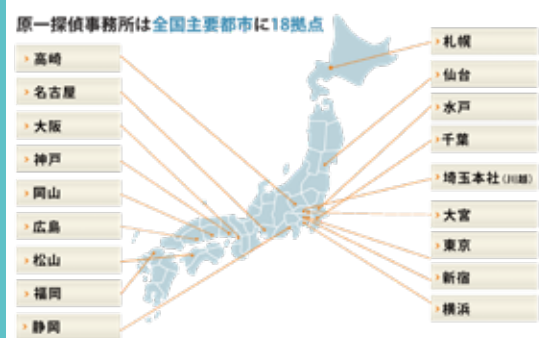
テレビでおなじみの探偵社

原一探偵事務所
ハライチ

信頼実績 相談・見積り
44年 無料

原一

検索



お問い合わせ先 担当/平木

050-3519-2307

メールアドレス press@haraichi.co.jp

「実録！犯罪列島」「特捜！最強 FBI 緊急捜査」他、テレビ番組調査実績成功事例多数

- 【TBS】 ◆ビビット ◆実録！犯罪列島 ◆ひるおび ◆実録！10人のコワイ女 ◆徳光和夫の感動再開“逢いたい” 他多数
- 【フジテレビ】 ◆特捜！最強 FBI 緊急捜査 ◆ハンゲキ ◆カスペ！ ◆失踪人追跡スペシャル 他多数
- 【日本テレビ】 ◆スッカリ ◆パンキシャ ◆二ノさん ◆実録「特命記者」列伝 他多数
- 【テレビ東京】 ◆モーニングチャージ ◆ゆうがたサテライト ◆日曜ビッグバラエティー 他多数
- 【テレビ朝日】 ◆奇跡の扉 ◆TVのチカラ
- 【東海テレビ】 ◆みんなのニュース One
- 【テレビ埼玉】 ◆達人道〜密着！探偵の仕事